

## 第17回「良順教育賞」の授与式が執り行われました

令和7年3月12日（水）に第17回「良順教育賞」の授与式が本学医学部ポンペ会館で執り行われました。

ポンペと共に長崎大学医学部の創立者である松本良順の名を冠したこの賞は、医学教育で優れた実績を有する教員等に対し、その功績をたたえるもので、平成20年度に設けられ、今回が17回目の授与式となります。

今回受賞された、長崎大学 生命医科学域（先端技術展開外科学）曾山 明彦 准教授は、2011年から移植・消化器外科学教室の助教として教育に従事し、厚生労働省への二年間の出向を経た後、2021年から病院講師、2022年からは先端技術展開外科学准教授を務めながら、卒前、卒後を問わず全ての臨床教育を率先して行い、学生による評価において「特によかった科」で4年連続1位に選出されました。学内教育はもちろん、学外教育にも積極的に参加し、海外での臨床留学経験を活かし、海外からの留学生の指導も熱心に行い、医学教育に幅広く活躍し、多大な貢献を果たしてきました。

表彰を受けた曾山准教授からは、受賞の喜びが伝えられたほか、今後も専門領域である外科学の教育を中心に、より一層医学教育に尽力したいとの言葉が述べられました。



医学部長から表彰状を授与される曾山准教授



受賞の挨拶を述べる曾山准教授



（左から）

花束贈呈者（曾山准教授秘書）：永濱 愛 様

受賞者：曾山 明彦 准教授

推薦者：江口 晋 教授

江口教授秘書：有山 舞子 様